



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 吊車の本体への取付けは、吊車が本体木口面と同一面になるまで押し込んでください。押し込み後、引っ張って抜けないことを確認してください。押し込みが足りないと本体が脱落するおそれがあります。
- 2人以上で作業してください。
1人作業では商品の転倒などによりケガや躯体、商品のキズ付きが発生するおそれがあります。

■取付け上のおお願い

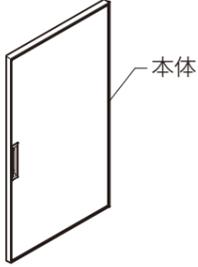
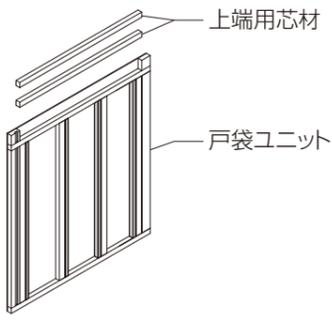
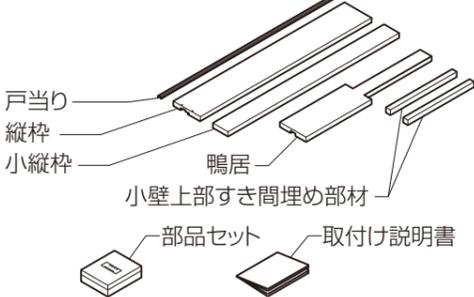
- 本製品の鴨居は天井のふところに納まります。枠を躯体に取付けた後に、天井ボードの施工を行ってください。
- 本製品は床材の上に納める仕様です。縦枠はカット不要です。本体を吊込めなくなります。
- 本製品の対応壁厚は「開口部の作り方」を参照してください。
- 本製品は本体が天井高さで納まります。
搬入や吊込み時など天井面、壁面にキズを付けないよう注意してください。
- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
- かい木は躯体(柱・胴縁含む)と同じ幅のものを使用してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 各部材のガイド穴にゴミが入らないようにしてください。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締め込んでください。但し、叩き込まないようにして下さい。保持力低下の原因となります。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから取付けしてください。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。
- 造作材・建具枠の下地材及び、かい木には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 枠の組立て後、揺らす・ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
- 枠はたおれ、傾き、タイコ、ツヅミ、ねじれがないように取付けてください。片引枠の場合は、中縦枠の施工にご注意ください。吊込み後、本体とのすき間・干渉の原因になります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)
- 本体は落下させたり、立てかける時に衝撃を与えないでください。本体部品が損傷し、開閉に支障をきたす原因になります。
- 梁またはまぐさが軽量鉄骨の場合は、ねじ保持力が弱いので直接固定しないでください。必ず枠と軽量鉄骨の間に木枠を入れて取付けしてください。
- 鴨居取付けねじの締めすぎにご注意ください。鴨居レールを変形させると本体の動きが悪くなる場合があります。本体吊込み時に動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。
- 必ず鴨居レールの取付け方向を確認してください。
- 鴨居レールの長さカットはしないでください。
- 製品取付の際の建具養生時に表面シートにテープ(ガムテープ、養生テープ、マスキングテープなど)を直貼りしないでください。テープをはがす際、表面シートを傷めたり、テープの粘着剤が表面シートに付着したまま残ることがあります。
- 吊車の入れ方を間違えると本体の吊込みおよび、建付け調整ができません。
- 枠は取付け前に開梱した状態で現場に置かないようにしてください。現場の粉塵がソフトモーション部品に混入し、作動不良の原因となります。
- 吊車(ソフトモーション付)に潤滑剤などを塗布しないでください。作動不良の原因になります。
- 運搬・加工の際は、ねじったり傷つかないように取扱ってください。本体がねじれた場合、開閉に支障をきたす原因になります。
- 本製品は天井ボードを鴨居レールに突き当てて納める仕様となります。レールが変形する程の強い力で突き当てないでください。作動不良の原因になります。
- 本製品は上吊方式を採用しています。梁(まぐさ)は、最大30kg×本体枚数分の強度を要するため、必ず構造計算のうえ、躯体に十分な強度をもたせてください。鴨居およびレールの垂れ下がりの原因になります。
- 採光窓および鏡面色本体の表面にキズ保護用シートを貼り付けてあります。キズ保護用シートは必ず手ではがしてください。

■本体・戸袋ユニット保管上のおお願い

- 本体・戸袋ユニットのソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。
・直射日光の当たる場所 ・昼夜などで温度差の激しい場所 ・湿気の多い場所
- 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。
- 戸袋ユニットは、取付けの直前まで製品梱包状態で保管してください。梱包を外した状態での保管はソリ・ねじれの原因となります。

■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品です。

引戸本体	戸袋ユニットセット	枠セット	中縦枠
			
			クロス下地材
			 クロス下地材両側仕様は4本 (片側仕様は2本となります)

■部品セット明細

■枠セット用

名称	入数
吊車A(ソフトモーション・ポップアップ付)	1個
吊車B	1個
縦枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	8本
鴨居取付け用トラスタップンねじ1種φ4×50(予備用含む)	9本
枠組立て用皿木ねじM4×50	4本
ライン枠引込戸用固定ガイドピン	1個
ガイドピン固定用皿タップンねじ1種φ3.5×20	4本
戸尻ストッパー	1個
戸尻ストッパー取付け用特平木ねじφ3.8×20	2本
ライン枠部品取付け用治具	1個
受け金具	2個
受け金具取付け用低頭小ねじM3×16	6本
補強金具	2個
仮止め用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	3本

■引手セット(別売り)

名称	入数
引手A	1個
引手B	1個
取替え説明書	1枚

■プッシュ錠セット(別売り)

名称	入数
プッシュ錠本体	1個
錠座カバー	1個
取付け用皿タップンねじφ3.5×8	2本
カギ(シリンダー錠のみ)	3本

お願い

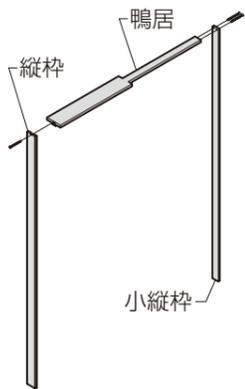
※枠は取付け前に開梱した状態で現場に置かないようにしてください。
現場の粉塵がレール内面に付着し、作動不良の原因になります。



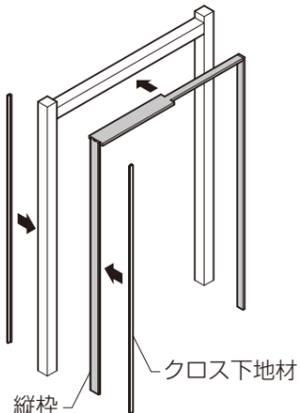
■ 施工のながれ

お願い
 ※本製品の鴨居は天井のふところに納まります。枠を躯体に取付けた後に、天井ボードの施工を行ってください。
 ※本製品は床材の上に納める仕様です。縦枠はカット不要です。本体を吊込めなくなります。

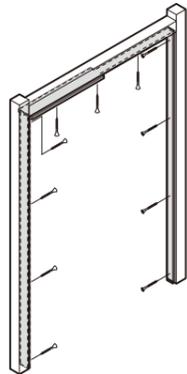
1 枠の組立て
 ▶ 4/16 ページ



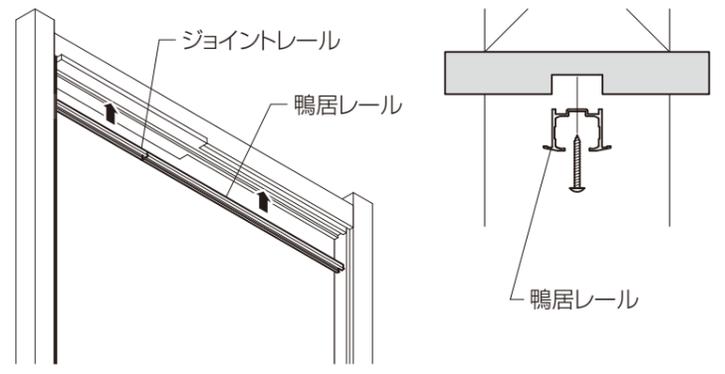
2 クロス下地材での縦枠位置出し
 ▶ 4/16 ページ



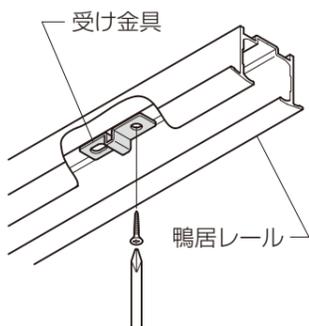
3 枠の固定
 ▶ 5/16 ページ



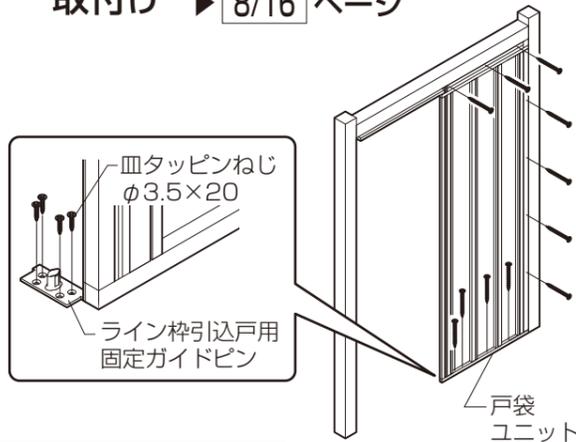
4 鴨居レール・ジョイントレールの取付け
 ▶ 6/16 ページ



5 受け金具の取付け
 ▶ 7/16 ページ

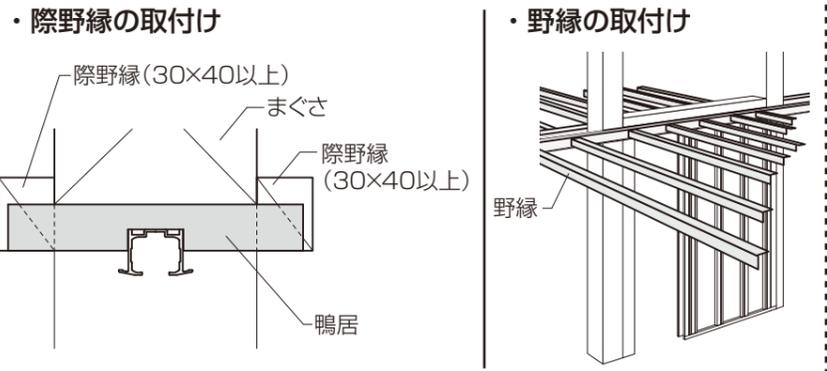


6 戸袋ユニット・ガイドピンの取付け
 ▶ 8/16 ページ



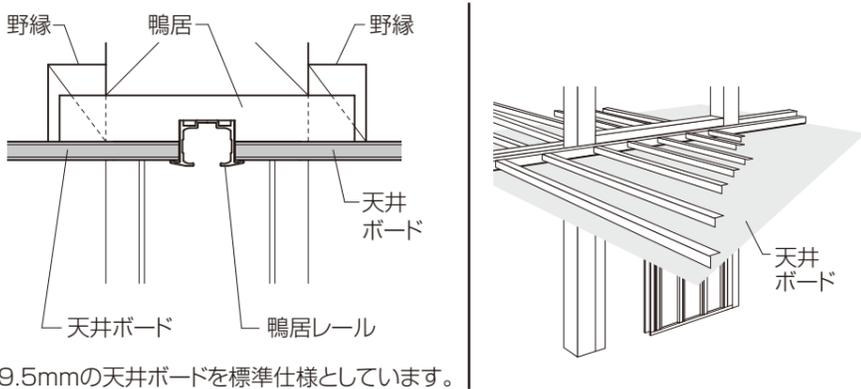
建築工事(材料は現場手配)

7 天井下地の施工 ▶ 9/16 ページ



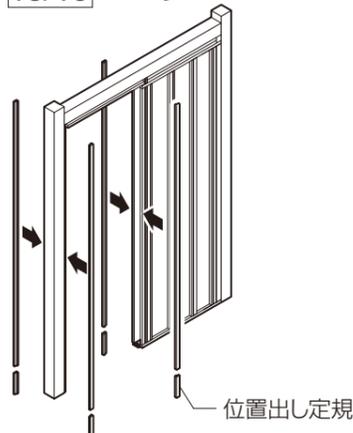
建築工事(材料は現場手配)

8 天井ボードの施工 ▶ 10/16 ページ

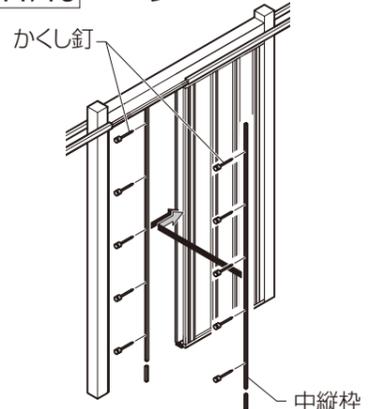


9.5mmの天井ボードを標準仕様としています。

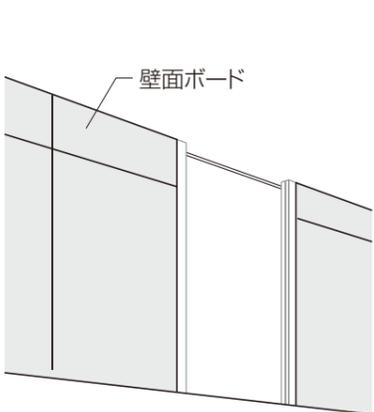
9 クロス下地材の取付け
 ▶ 10/16 ページ



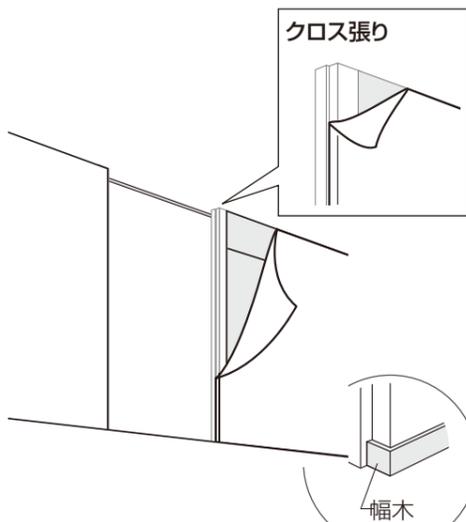
10 中縦枠の取付け
 ▶ 11/16 ページ



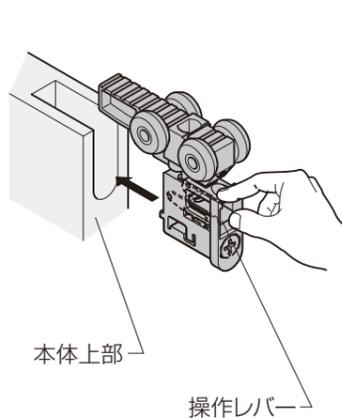
11 壁面ボードの施工
 ▶ 11/16 ページ



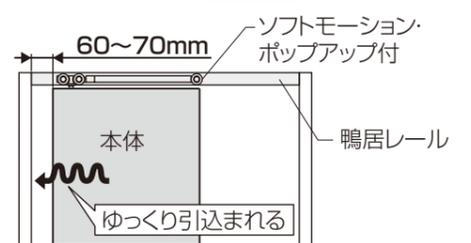
12 クロス、幅木の施工
 ▶ 11/16 ページ



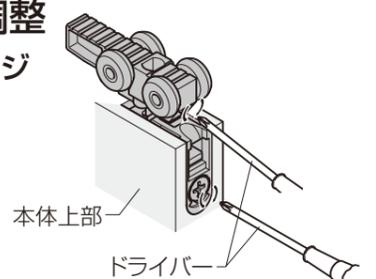
13 本体の吊込み
 ▶ 12/16 ページ



14 ソフトモーション・ポップアップの動作確認
 ▶ 13/16 ページ



15 本体の調整
 ▶ 14/16 ページ



開口部の作り方

対応壁厚

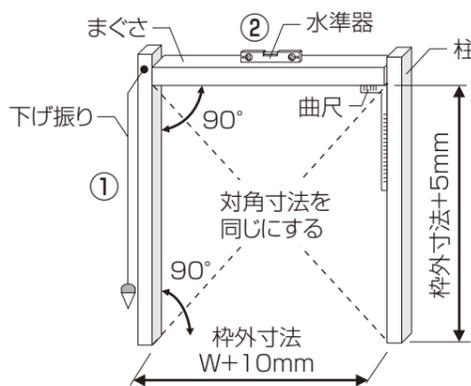
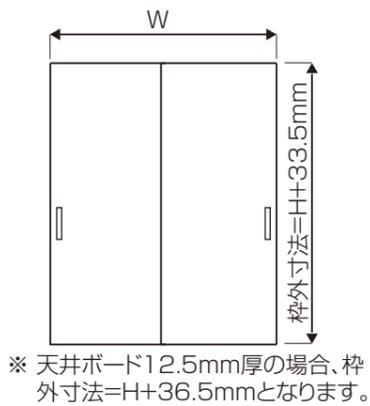
壁ボード厚 枠種類	クロス下地材両側仕様例				クロス下地材片側仕様例 ※クロス下地材を両側納めることができない壁厚の場合、片側はなし仕様で納めてください。			
	12.5mm		9.5mm		12.5mm		9.5mm	
引込み戸	対応壁厚	クロス下地材	対応壁厚	クロス下地材	対応壁厚	クロス下地材	対応壁厚	クロス下地材
	130mm		124mm		130mm以上		124mm以上	
	145mm		139mm					

開口部寸法の出し方

※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

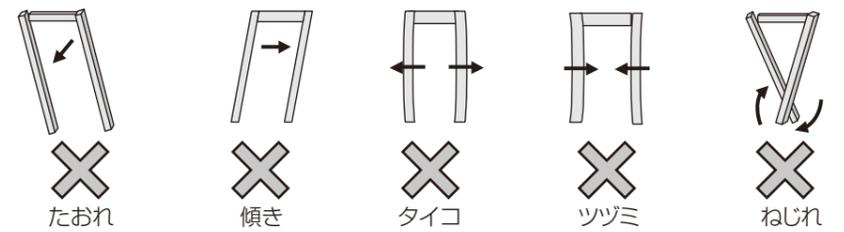
※本製品は上吊方式を採用しています。梁(まぐさ)は、最大30kg×本体枚数分の強度を要するため、必ず構造計算のうえ、躯体に十分な強度をもたせてください。鴨居の垂下がりの原因になります。

●製品寸法(天井ボード9.5mm厚の場合) ●開口寸法



- ① 下げ振りを使って、柱が垂直になるように取付けてください。
- ② 水準器・曲尺を使って、まぐさが柱と垂直で、水平になるように取付けてください。

※柱、床、まぐさの水平・垂直がでていないと、枠が下図のようになり、不具合現象につながります。



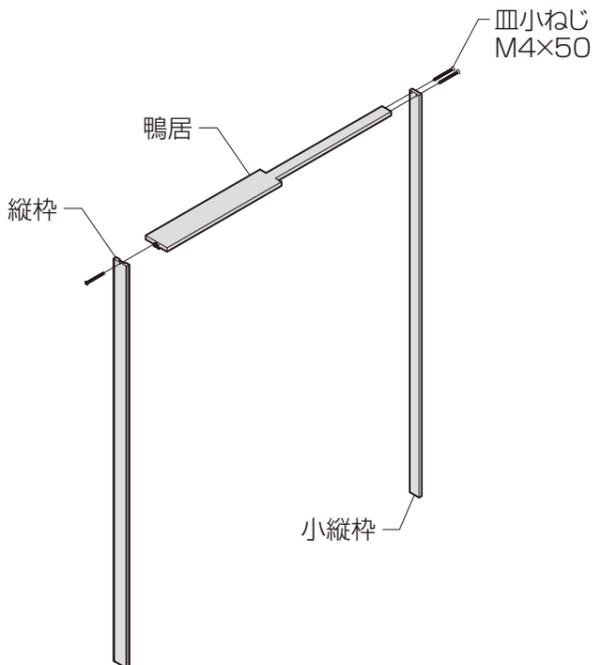
取付け順序

1 枠の組立て

下図のように、鴨居、縦枠・小縦枠を組み合わせ、枠組立て用皿小ねじM4×50で固定します。

お願い

- ※本製品は床材の上に納める仕様です。縦枠はカット不要です。本体を吊込めなくります。
- ※必ず同梱のねじを使用して取付けてください。

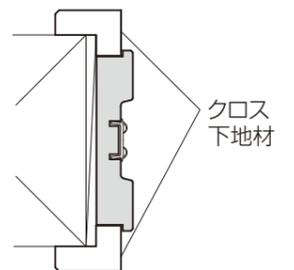
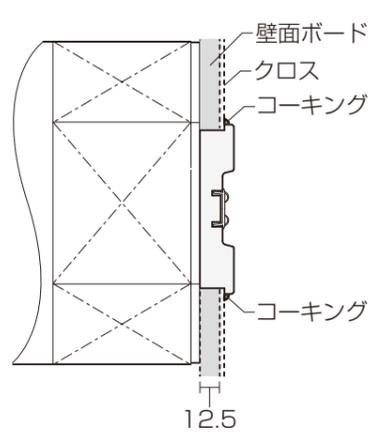


2 クロス下地材での縦枠位置出し

クロス下地材を縦枠に当て、位置出しをします。

■入隅の場合

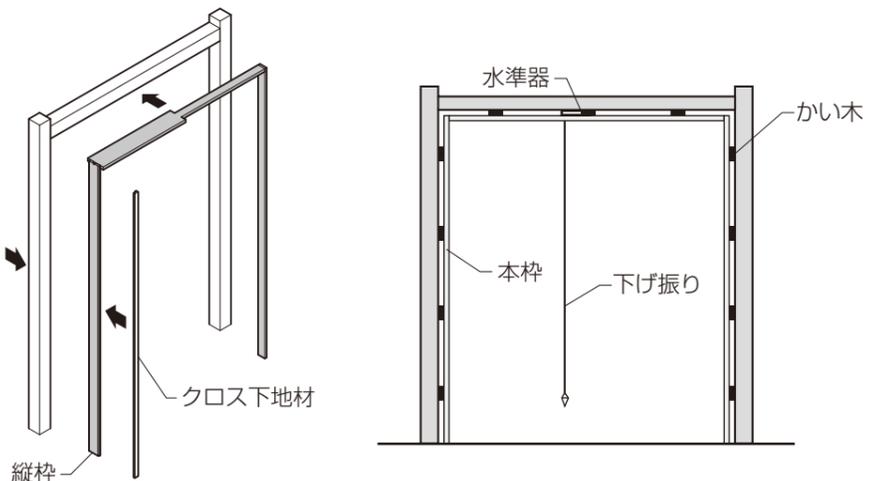
- 入隅の場合は、クロス下地材を使いません。壁面ボードを枠に差し込む納まりになります。
- クロスと縦枠の継ぎ目に、コーキング処理を行ってください。



クロス下地材拡大図



かい木、酢ビ系接着剤を用いて枠の開口部へ本枠をはめ込んでください。下げ振り・水準器などを使用して垂直・水平・開口幅などの確認と調整をしてください。



3 枠の固定

■縦枠・小縦枠の固定

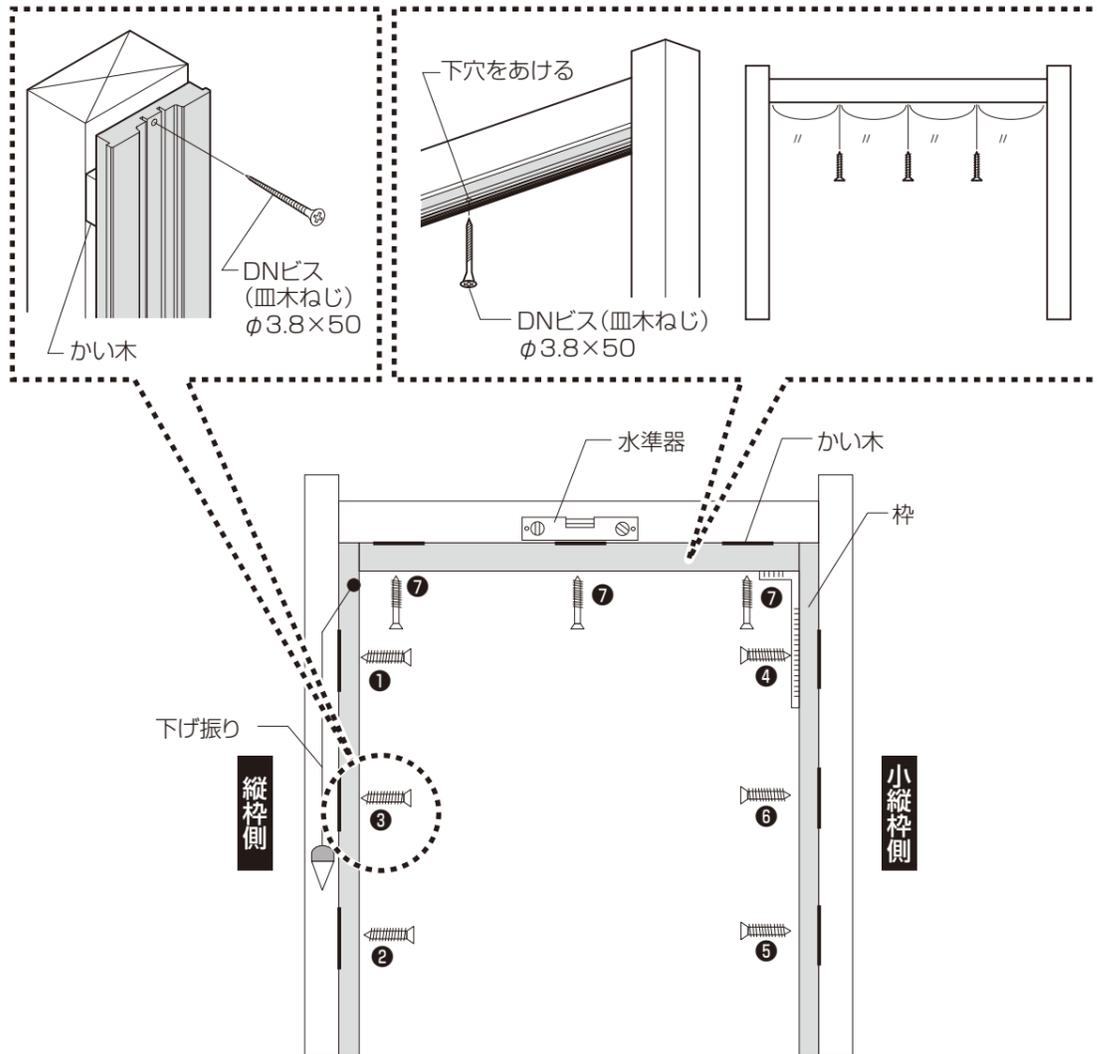
縦枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50で固定してください。

■鴨居の仮固定

鴨居を四等分してφ2.5の下穴をあけ、縦枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50 3本で締め付けてください。

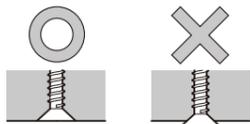
《取付け要領》

- ① 枠を開口部にはめ込んで、上枠の水平を確認してから、縦枠の①を仮固定してください。
 - ② 下げ振りを使って垂直・たおれがないことを確認してから、縦枠の②を仮固定してください。
 - ③ 水準器で鴨居の水平を確認してから小縦枠の④を仮固定してください。
 - ④ 下げ振りを使って垂直・たおれがないことを確認してから、小縦枠の⑤を仮固定してください。
 - ⑤ 枠の水平・垂直を再度確認して、上下、左右のすき間をかい木で調整後、残りのねじで本固定してください。
- ※ 枠に水系を張る等して枠が曲がっていないことを必ず確認してください。



お願い

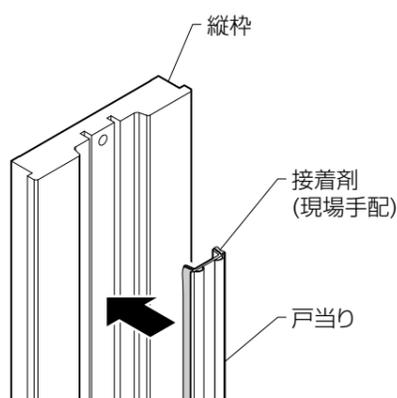
- ※必ず同梱のねじを使用して施工してください。
- ※鴨居を固定する際、割れるおそれがありますので必ず下穴をあけてください。
- ※穴のあいているところは、避けてください。
- ※皿ねじが面から飛び出ないように取付けてください。



※本製品は上吊方式を採用しています。梁(まぐさ)は、最大30kg×本体枚数分の強度を要するため、必ず構造計算のうえ、躯体に十分な強度を持たせてください。鴨居およびレールの垂れ下がりの原因になります。

■戸当りの取付け

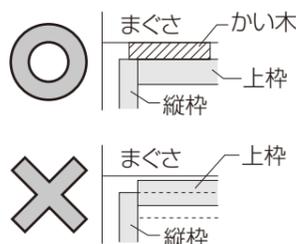
- ① 戸当りを現場の寸法に合わせて切断します。
- ② 戸当りに接着剤(現場手配)を付けて溝をふさぎます。



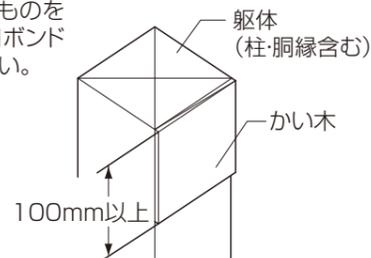
お願い

※ 枠のたおれ、傾き、タイコ、ツツミ、ねじれがないように取付けてください。

上枠が持ち上がらないように枠接合部にかい木を入れます。



かい木は躯体(柱・胴縁含む)と同じ幅のものを使用して、木工用ボンドで接着してください。



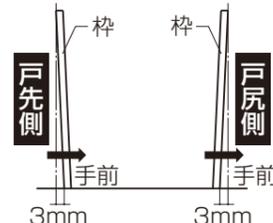
■取付け精度の許容範囲

※横方向の倒れ・奥行き方向のねじれが3mmをこえる場合、枠のタイコ・ツツミが両端・中央で+1、-2mmを超えるは取付け修正を行ってください。(引戸が吊込めない・ソフトモーション機構の作動不具合・ライン枠引込戸用固定ガイドピンの外れの原因となります。)

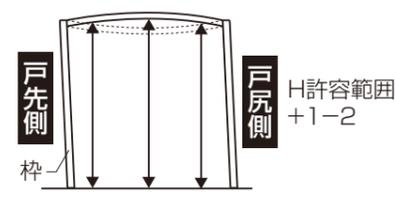
●横方向のたおれ



●奥行き方向のねじれ



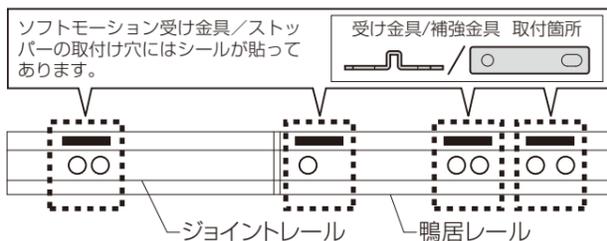
●枠のタイコ・ツツミ



4 鴨居レール・ジョイントレールの取付け

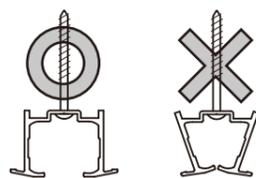
お願い

- ※鴨居レール・ジョイントレールの長さカットはしないでください。
- ※ソフトモーション受け金具の取付け穴に鴨居取付けねじで固定しないでください。
- ※鴨居には穴加工があります。レールの穴加工と合うように向きを注意して取付けしてください。

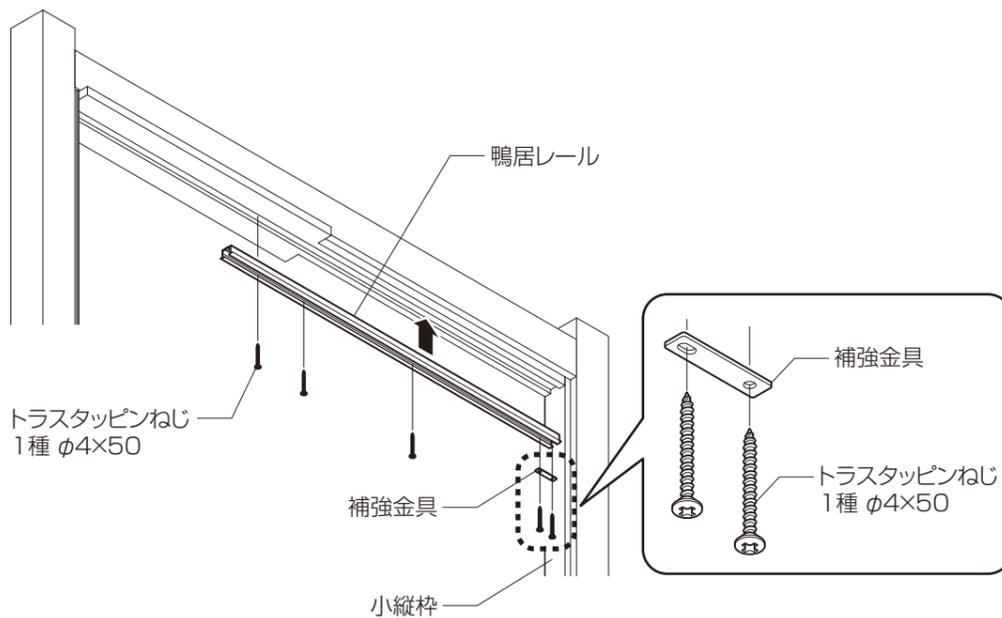


レール取付け上のお願い

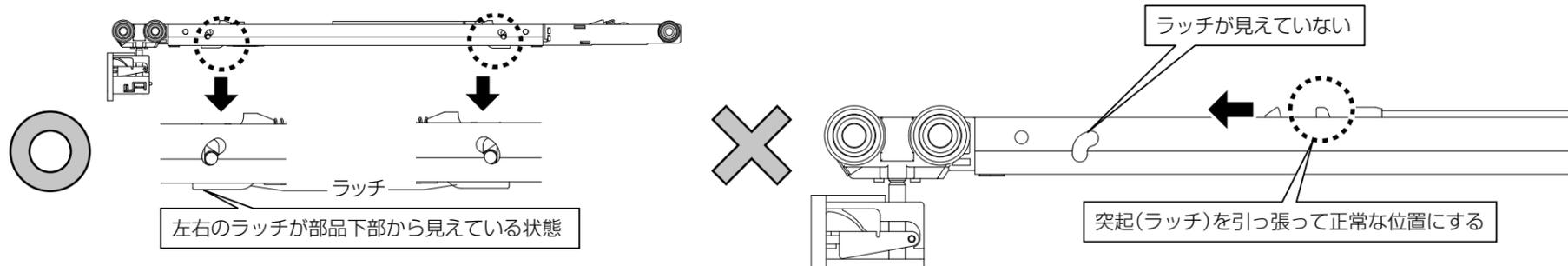
- ※鴨居取付けねじの締めすぎにご注意ください。鴨居レールを変形させると本体の動きが悪くなる場合があります。本体吊込み時に動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。



- ①鴨居レールを鴨居取付け用トラストタッピンねじ1種φ4×50で固定します。
- ②補強金具を小縦枠側の端部に共締めして取付けてください。
- ③吊車A,Bを挿入します。
※ラッチ位置を確認し、向きに注意して鴨居レールに挿入してください。

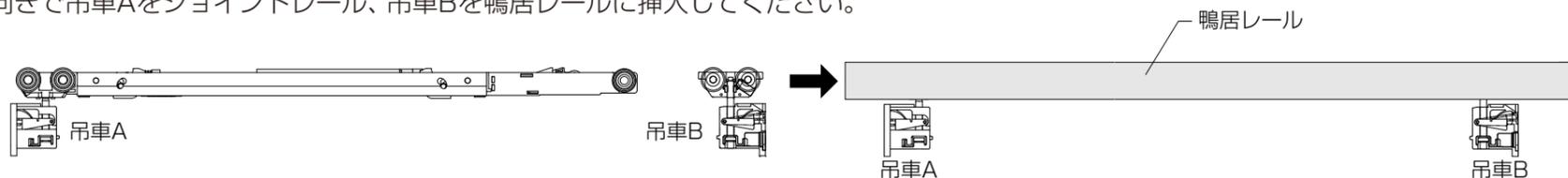


●吊車A(ソフトモーション・ポップアップ付)のレール挿入前の確認



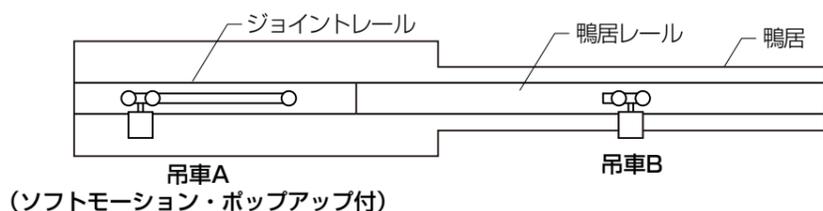
●吊車A,Bの挿入

- ※図の向きで吊車Aをジョイントレール、吊車Bを鴨居レールに挿入してください。

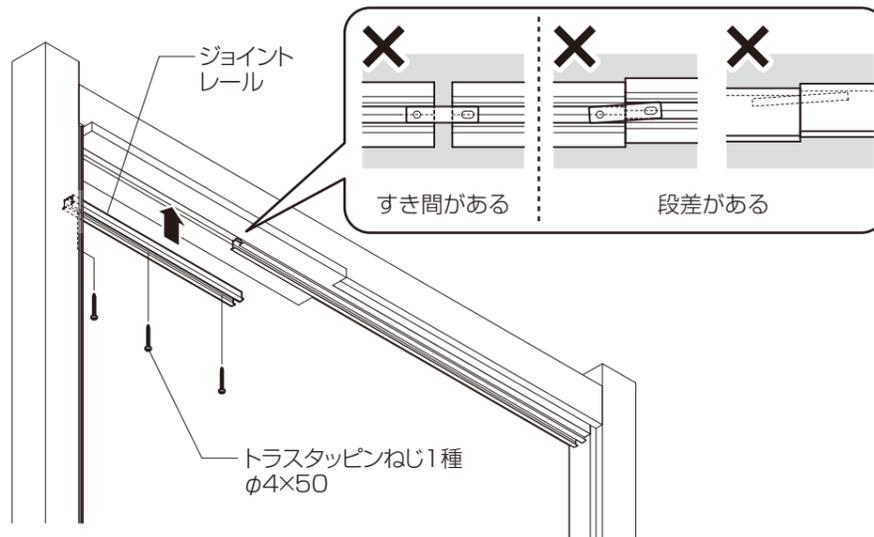


お願い

- ※下図を参照し、吊車・レールの向きにご注意ください。向きを間違えると正常に開閉操作ができません。

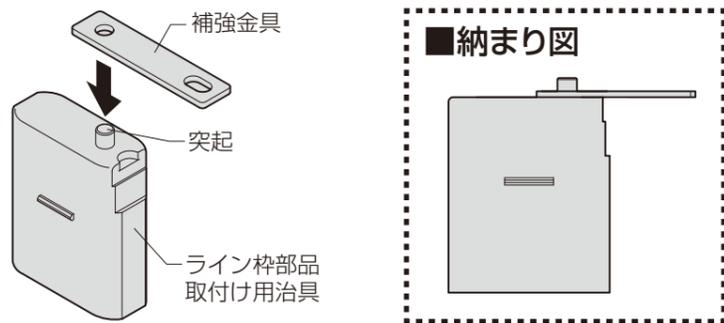


- ④ジョイントレールを鴨居取付け用トラストタッピンねじ1種φ4×50で固定してください。
- ※ジョイントレールと鴨居レールの接合部はすき間や段差ができないようにしてください。

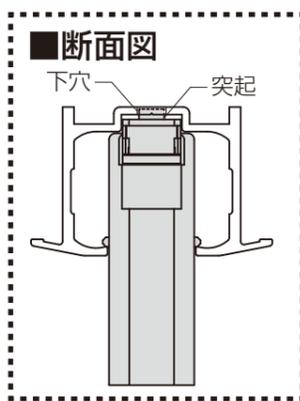
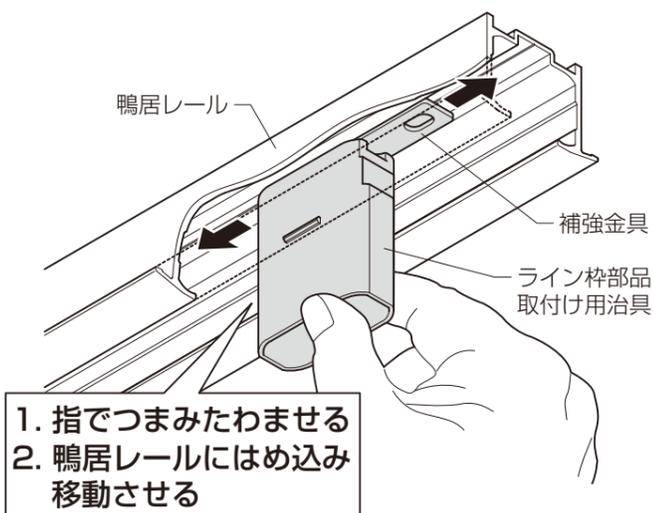


■補強金具の取付け

- ①補強金具をジョイントレールと鴨居レールの接合部に受け金具取付け用低頭小ねじM3×16で取付けます。
- ②補強金具の向きを確認して、ライン枠部品取付け用治具にセットしてください。

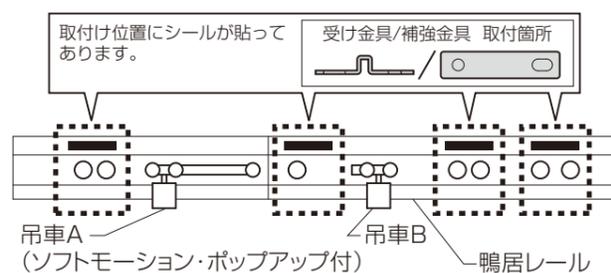


- ③補強金具を鴨居レール溝にはめ込みます。
ライン枠部品取付け用治具の突起が鴨居レールの下穴にはまり込むよう左右に移動させ位置決めします。

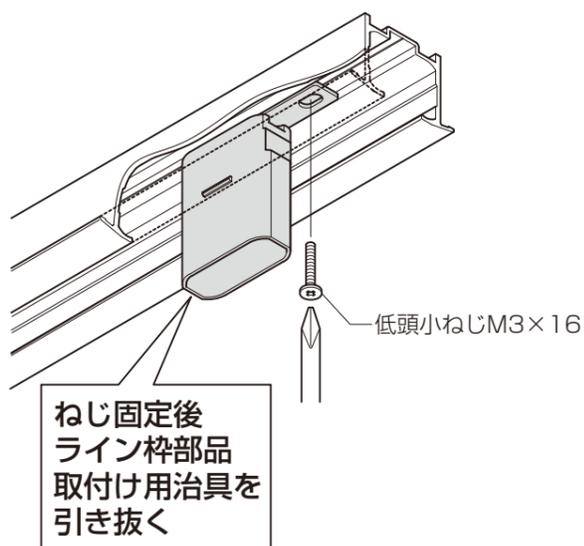


取付け位置について

※鴨居レールに貼ってあるシールを参照して取付け位置を確認してください。

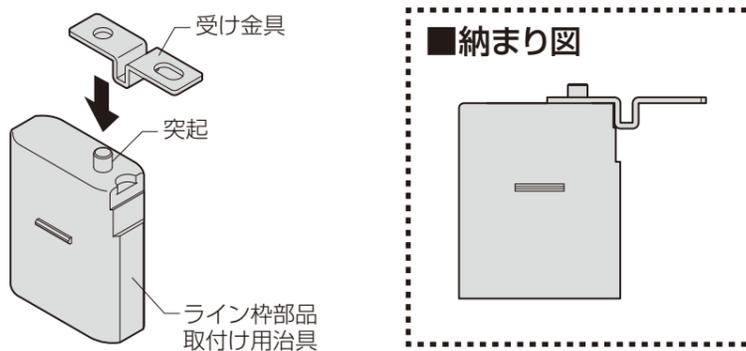


- ④低頭小ねじM3×16で固定し、ライン枠部品取付け用治具を引き抜いてください。
- ⑤もう片方の固定穴も取付けねじで固定してください。

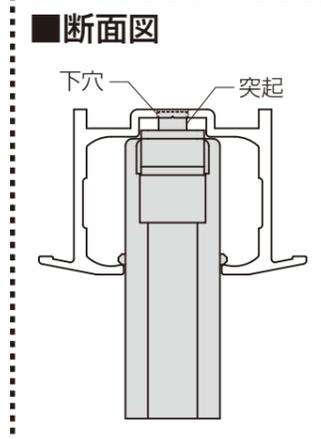
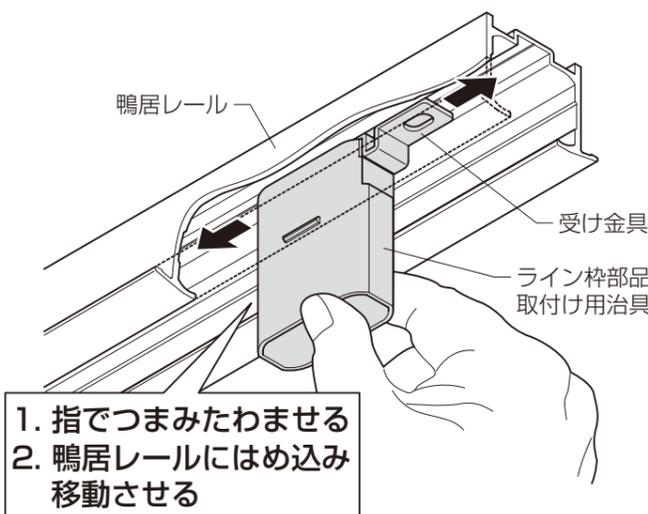


■受け金具の取付け

- ①受け金具の方向を確認して、ライン枠部品取付け用治具にセットしてください。



- ②受け金具を鴨居レール溝にはめ込みます。ライン枠部品取付け用治具の突起が鴨居レールの下穴にはまり込むよう左右に移動させ位置決めします。



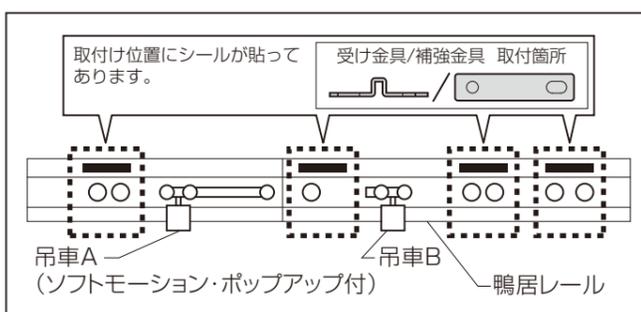
お願い

※完全に固定されるまで、鴨居レールにしっかりと固定してください。作動不良の原因になります。

斜めに取付く

溝にのり上げる

浮き上がる



③受け金具取付け用低頭小ねじ M3×16で固定し、ライン枠 部品取付け用治具を引き抜い てください。



低頭小ねじ M3×16

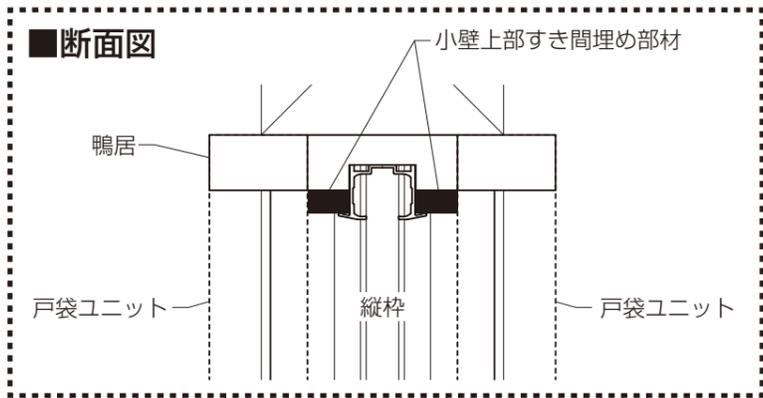
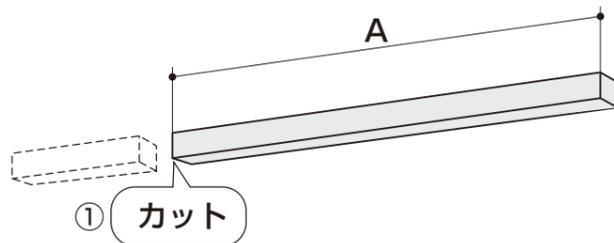
④もう片方の固定穴も固定してください。

お願い

※受け金具取付け後、吊車A・Bは縦枠側に寄せておいて ください。戸袋ユニット内に吊車Bが隠れると、吊込み しにくくなります。

■小壁上部すき間埋め部材の取付け

- ①小壁上部すき間埋め部材を納まりに合わせて切断します。
- ②仕上面の裏側に酢ビ系接着剤(現場手配)を塗布します。
- ③鴨居レールに突き当てて取付けます。
- ④かくし釘(現場手配)で固定します。



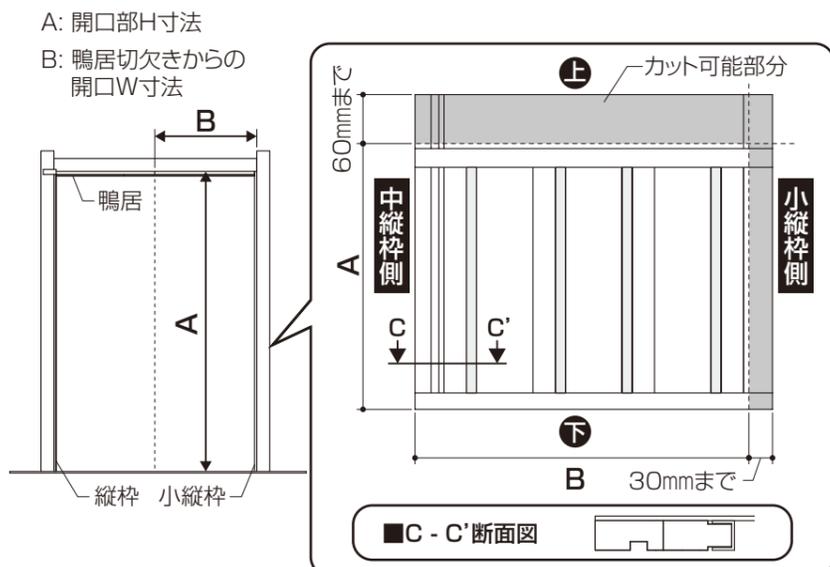
■戸袋ユニット・ガイドピンの取付け

※戸袋ユニットを使用しない場合は現場にて袖壁を製作してください。

お願い

※戸袋ユニットは、取付けの直前まで製品梱包状態で保管してください。梱包を外した状態での保管は ソリ・ねじれの原因となります。

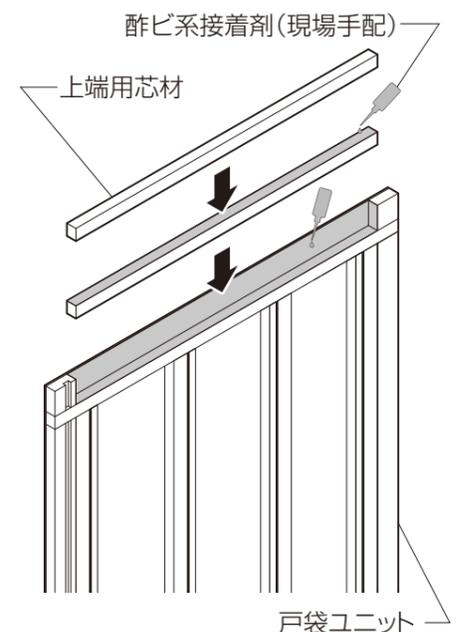
- ①開口寸法に合わせ、必要に応じて戸袋ユニットのサイズを調整します。 戸袋ユニットの上・下/中縦枠側・小縦枠側を確認して、上側・小縦枠側をカットしてください。



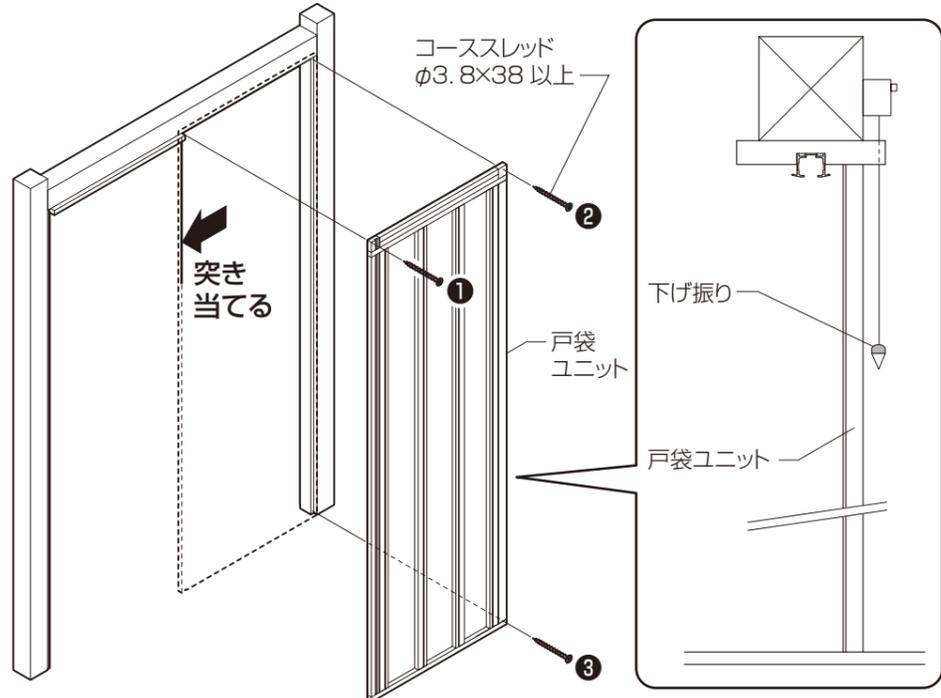
お願い

※戸袋ユニットの中縦枠側・下側 をカットしないでください。 取付けできなくなります。

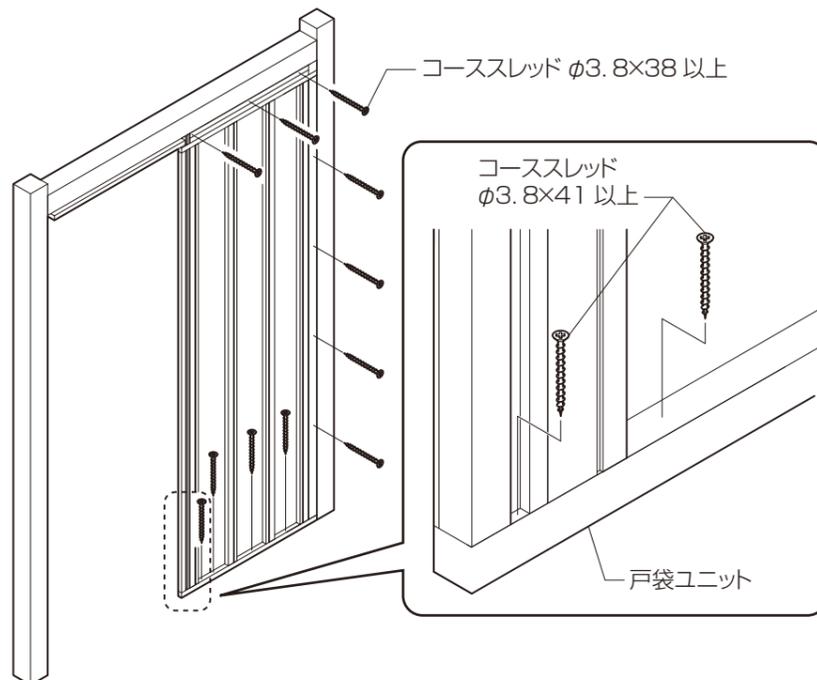
- ②上端用芯材を酢ビ系接着剤(現場手配)で戸 袋ユニットに張付けます。 ※戸袋ユニットのサイズ調整をした場合は、 上面が平滑になるようカットしてください。



- ③戸袋ユニットを鴨居の中縦枠側に突き当て、仮置きしてください。
- ④戸袋ユニット小縦枠側の上下、中縦枠側の上部をコーススレッドφ3.8×38以上(現場手配)で固定してください。
- ※取付け前にφ2.5の下穴をあけてください。
- ※下げ振りで戸袋ユニットの垂直を確認してください。



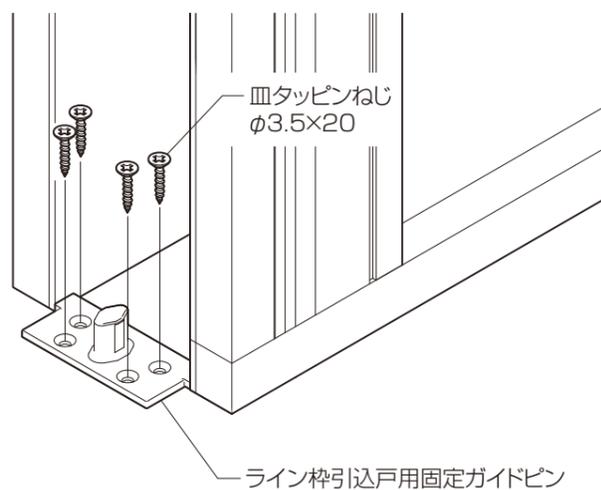
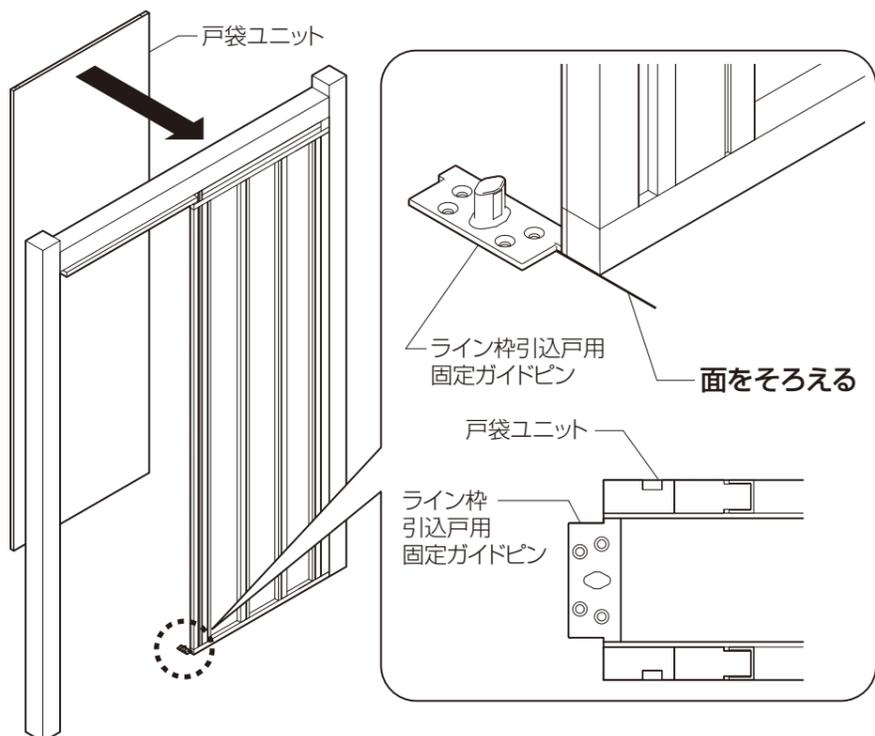
- ⑤戸袋ユニットの中縦枠側下部をコーススレッドφ3.8×41以上(現場手配)で床面に固定します。
- ※取付け前にφ2.5の下穴をあけてください。
- ※下げ振りで戸袋ユニットの垂直を確認してください。
- ⑥残りのねじを200~250mmピッチですべて取付けてください。



お願い

※固定時にレールを傷つけないよう注意してください。

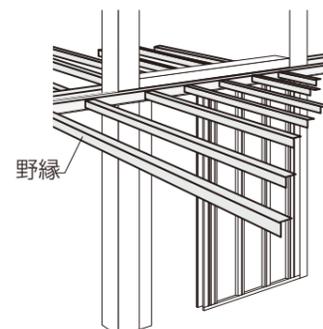
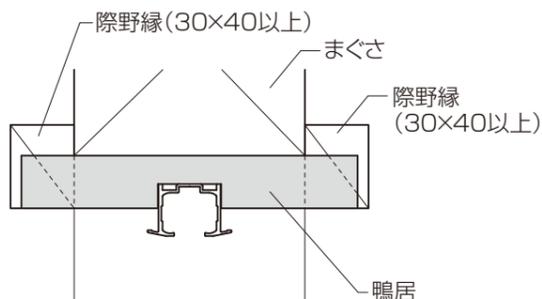
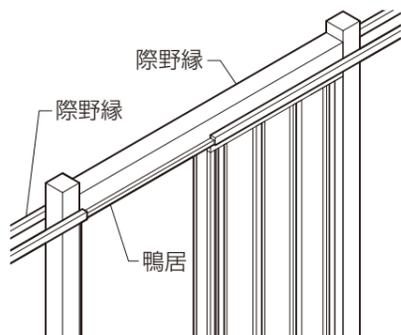
- ⑦ライン枠引込戸用固定ガイドピンの角と戸袋ユニットの面を合わせて仮置きしてください。
- ⑧反対側の戸袋ユニットも②~⑤と同様の手順で固定してください。
- ⑨ライン枠引込戸用固定ガイドピンをガイドピン固定用皿タッピンねじφ3.5×20で取付けてください。



建築工事(材料は現場手配)

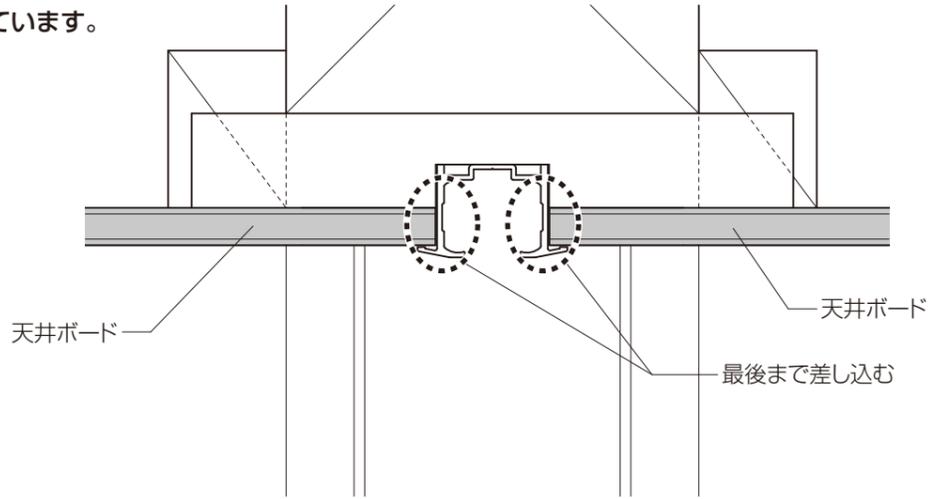
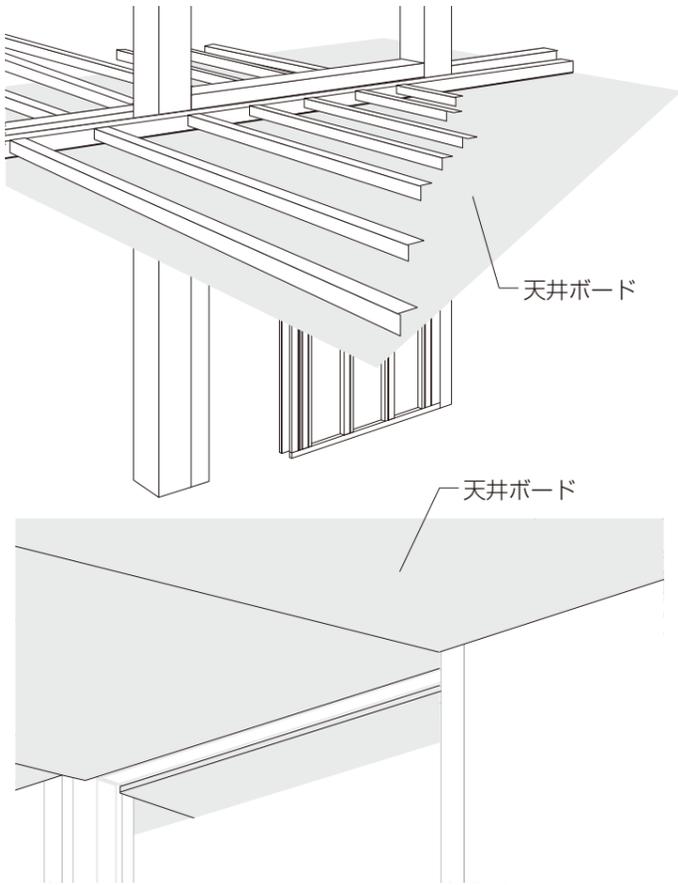
■天井下地の施工 際野縁・野縁を取付けます。(際野縁は鴨居に突き当ててください。)

鴨居の下面に合わせて際野縁を取付けてください。



建築工事(材料は現場手配)

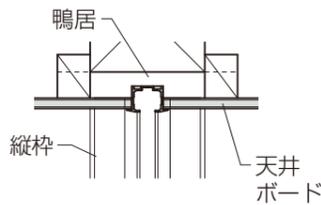
8 天井ボードの施工 ※本商品は、t9.5の天井ボードを標準設定としています。



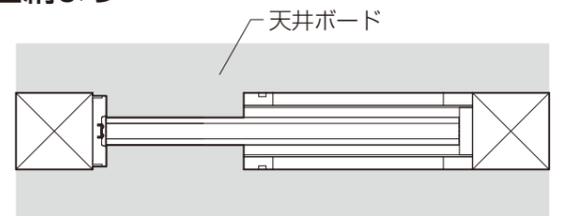
お願い

※レールが変形する程の強い力で突き当てないでください。作動不良の原因になります。

■断面図

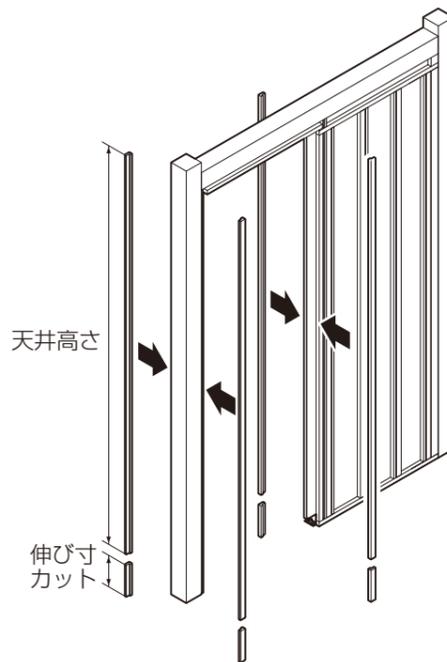


■納まり



9 クロス下地材の取付け ※両入隅納まり時は不要

クロス下地材を天井高さにカットして取付けしてください。
 ※クロス下地材で枠の両側を納める場合は、壁厚が限定されます。(P4表「対応壁厚」参照)
 ※それ以外の壁厚は、クロス下地材の反対側をボードで仕上げてください。(P4表「対応壁厚」参照)

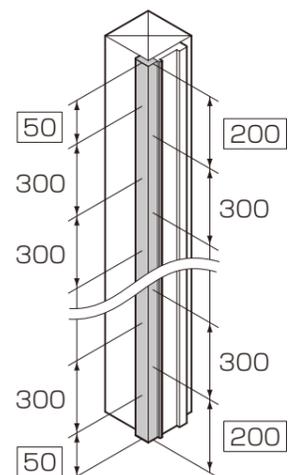
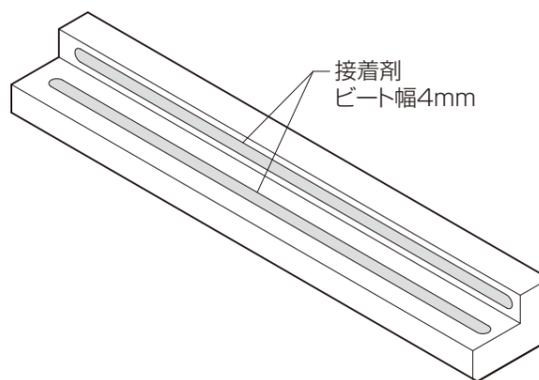
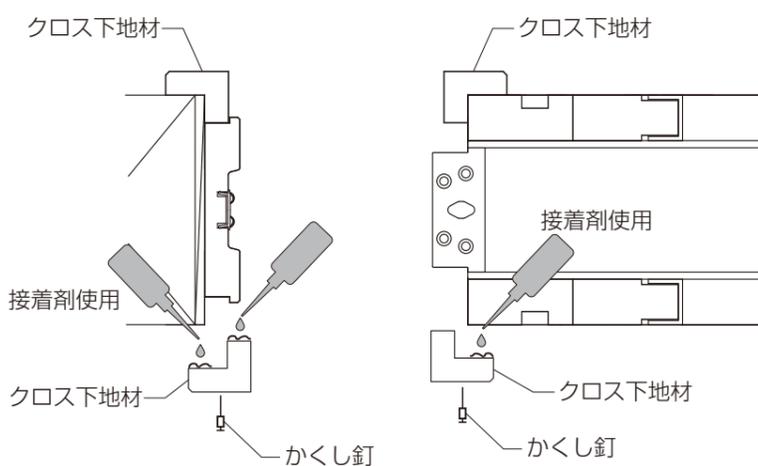


■クロス下地材の固定方法

酢ビ系接着剤(現場手配品)で、クロス下地材を枠に取付けてください。
 ※安定しない場合は、かくし釘(現場手配品)で固定してください。

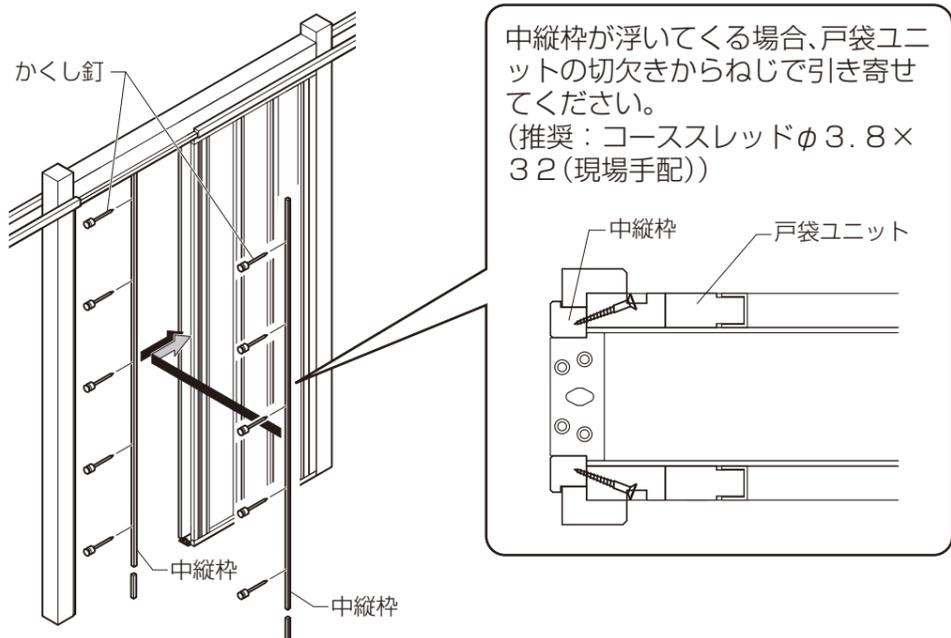
①クロス下地材に酢ビ系接着剤を塗布します。

②タッカー、かくし釘を使用し下図ピッチで固定してください。



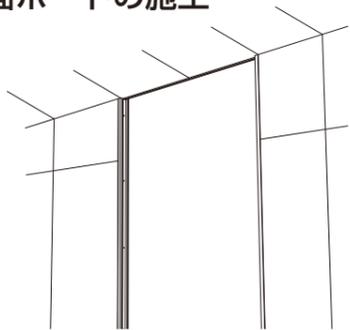
10 中縦枠の取付け

中縦枠を天井高さにカットして取付けます。
裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、かくし釘(現場手配)で戸袋ユニットに取付けてください。



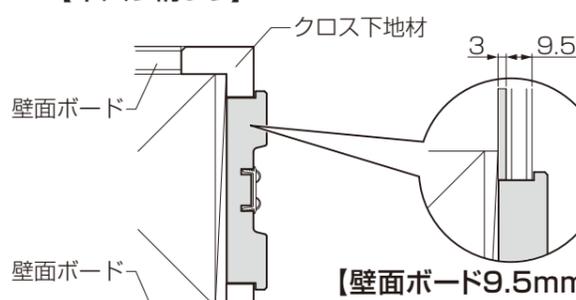
建築工事

11 壁面ボードの施工

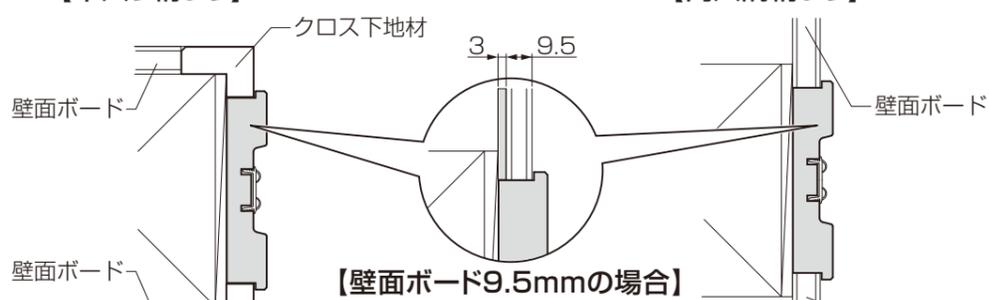


■縦枠側

【平入り納まり】

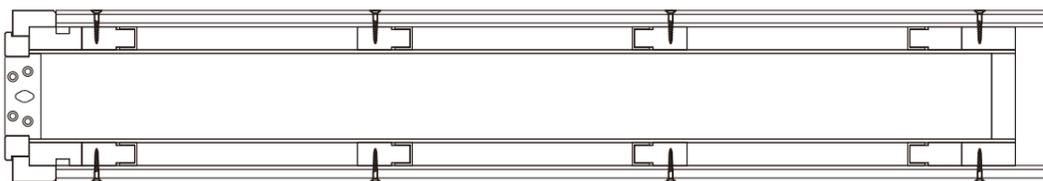


【両入隅納まり】



■戸袋ユニット側

●戸袋ユニットの鉄芯を避けて、取付けてください。
壁面ボード固定ねじが長いと戸袋ユニットを貫通するおそれがあります。
(推奨：コーススレッドφ3.8×25～28(現場手配))

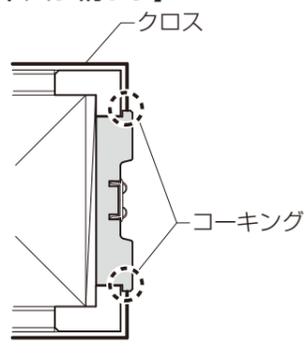


12 クロス、幅木の施工

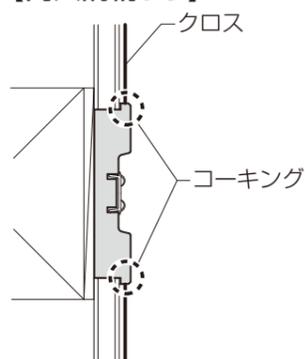
■ライン幅木の場合 (クロス→幅木の順で取付けてください。)

●クロス張り

【平入り納まり】

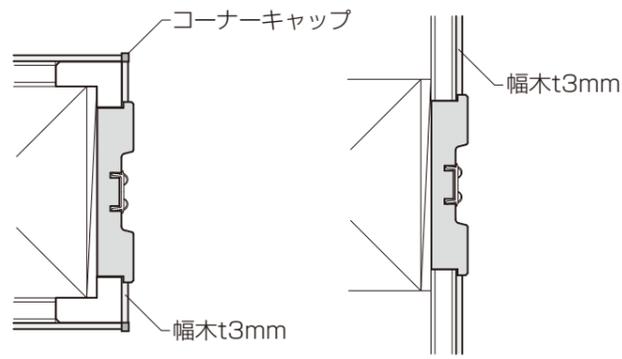


【両入隅納まり】



●幅木取付け

ソフト幅木用接着剤(ビニル共重合系溶剤系接着剤)を使用し取付けてください。
※幅木はクロスの上
に取付けてください。

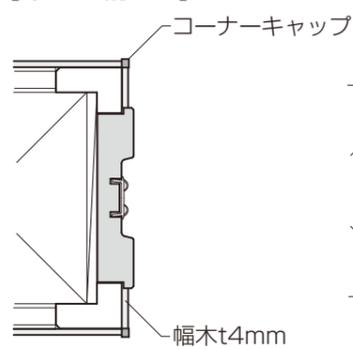


■ライン幅木(木質)の場合 (幅木→クロス)の順で取付けてください。)

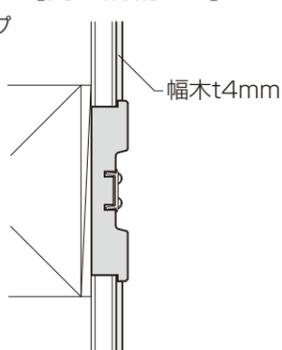
●幅木取付け

幅木部材の裏側にまんべんなく接着剤(現地手配)を塗布し、かくし釘で固定します。かくし釘のピッチは、200～300mmです。

【平入り納まり】

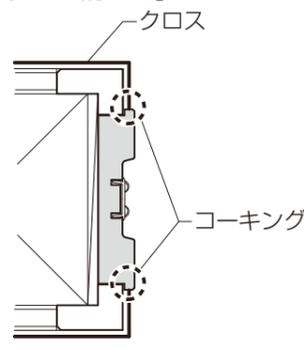


【両入隅納まり】

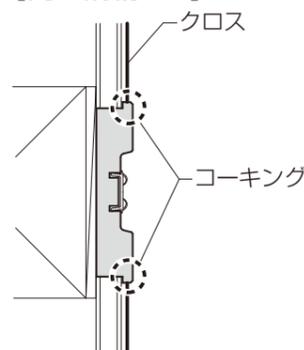


●クロス張り

【平入り納まり】



【両入隅納まり】



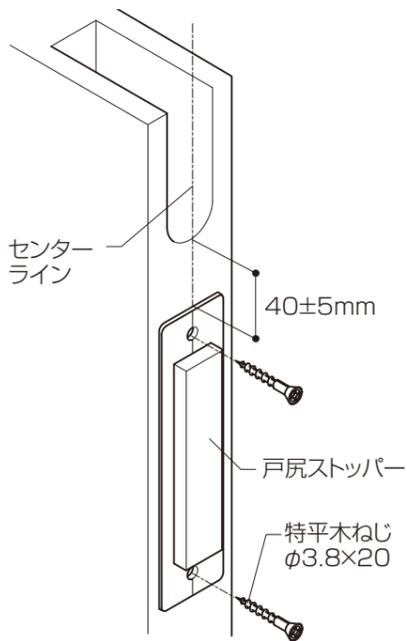
グランドラインラフィス
ライン幅木
施工手順動画



5217969977001

図 本体の吊込み

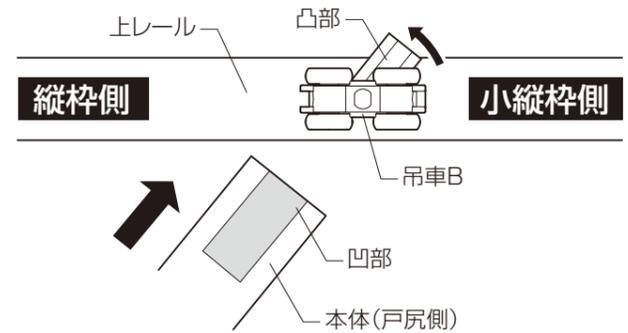
- ① 本体の戸尻木口面に戸尻ストッパーをあて、φ2.5の下穴をあけてから戸尻ストッパー取付け用特平木ねじφ3.8×20で取付けてください。



お願い

- ※戸尻ストッパーを忘れずに取付けてください。本体があおることによって吊車が破損したり、レールが変形するおそれがあります。
- ※戸尻ストッパーは本体に取付けるまで小袋から出さずに保管してください。

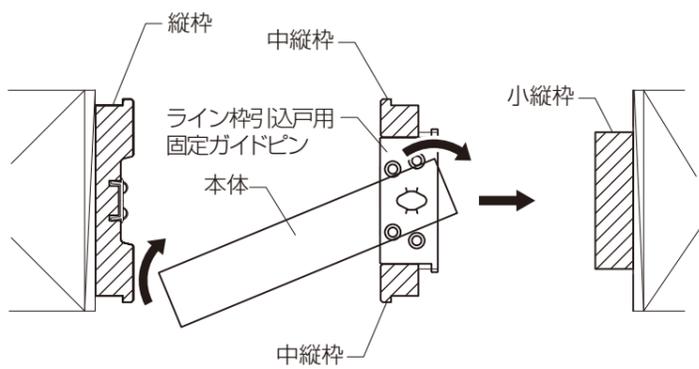
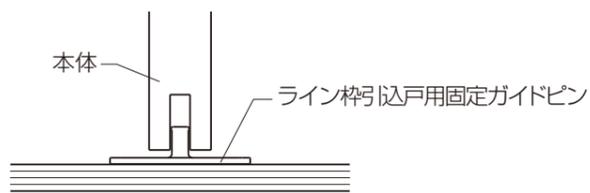
- ② 吊車Bと本体を下図の向きにして本体に取付けてください。吊車は本体に水平に押し込むとワンタッチで取付けられます。※吊車の凸部を本体上部溝の凹部に合わせて差込んでください。



注意

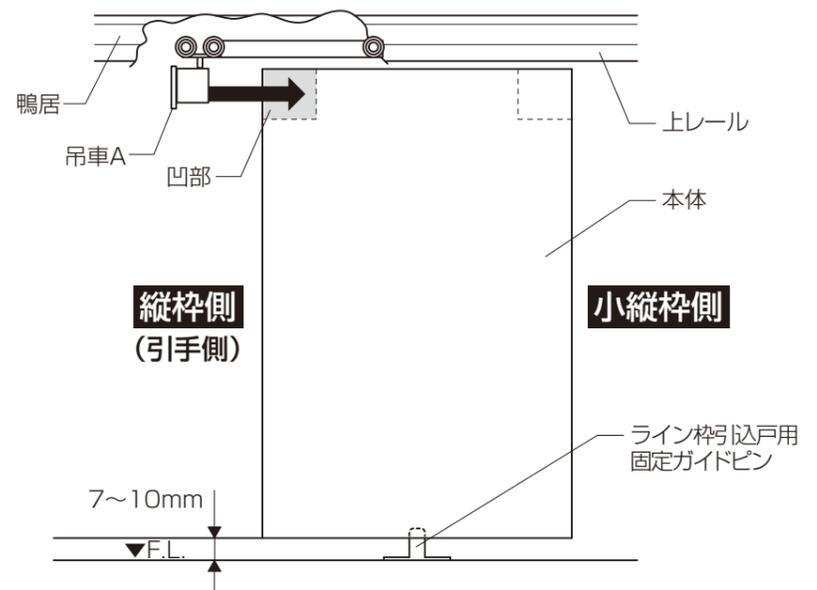
- 吊車の本体への取付けは、吊車が本体木口面と同一面になるまで押し込んでください。押し込み後、引っ張って抜けないことを確認してください。押し込みが足りないと、本体が脱落するおそれがあります。

- ③ 本体を回転させながら本体下部の溝にライン枠引込戸用固定ガイドピンを入れ、そのまま小縦枠側に押し込んでください。



- ④ 吊車Aを本体に取付けてください。吊車は本体に水平に押し込むとワンタッチで取付けられます。

※吊車の凸部を本体上部溝の凹部に合わせて差込んでください。

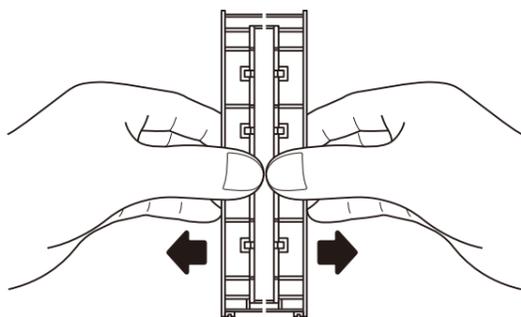


お願い

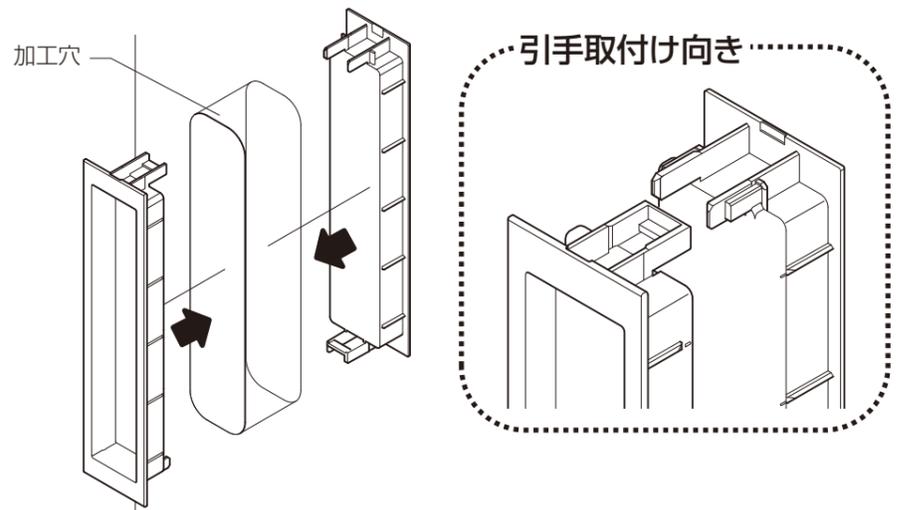
- ※本体下端と床面とのチリ寸法が7～10mm以内になるように調整を行ってください。上記範囲外では、部品同士が干渉し、本体が開ききらないおそれがあります。
- ※採光窓および鏡面色本体の表面にキズ保護用シートを貼り付けてあります。キズ保護用シートは必ず手ではがしてください。

1 引手の取付け

- ① 引手は仮組み状態になっています。平行に引き抜いてください。

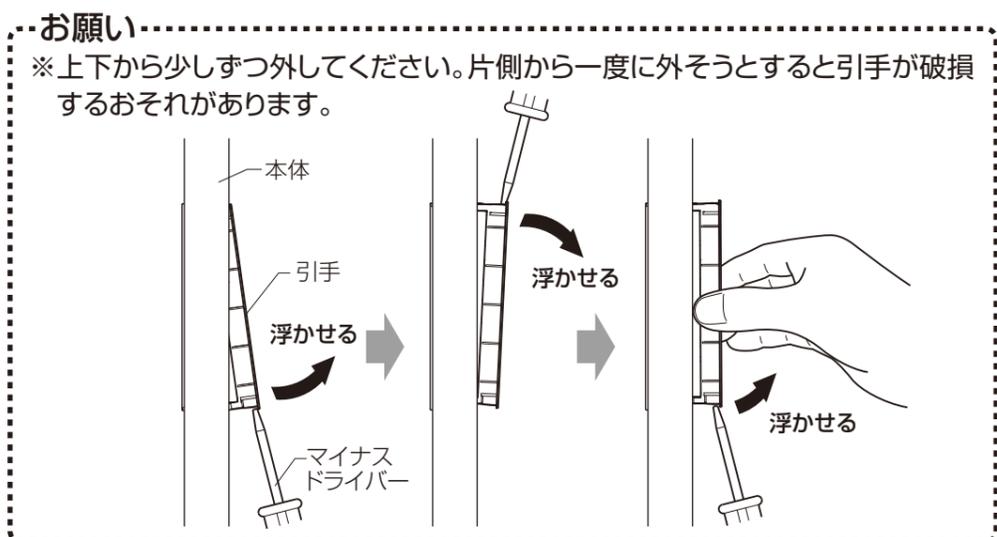
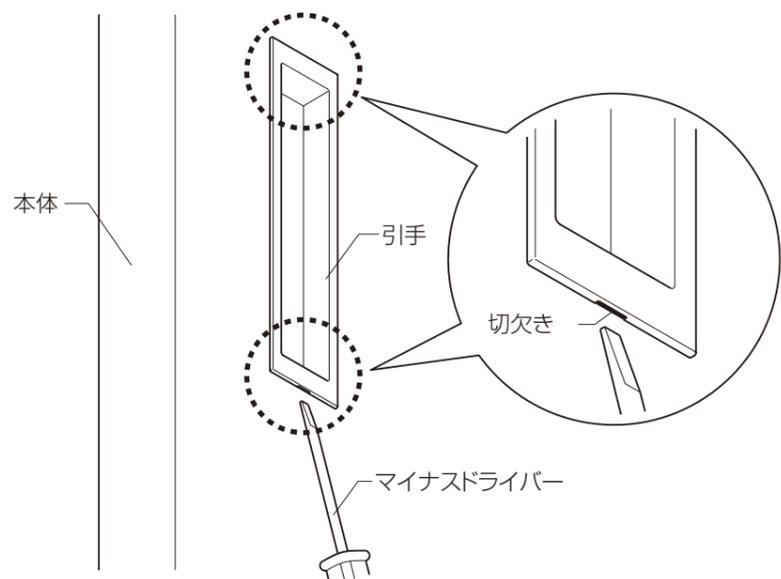


- ② 引手本体の加工穴に引手を取付けます。表裏の引手が上下互い違いになる向きにし、加工穴に押し込み固定してください。



●引手の取外し

引手上下にある切欠きに本体を傷つけないようにマイナスドライバーを差し込み、少しずつ引手を浮かせて外します。



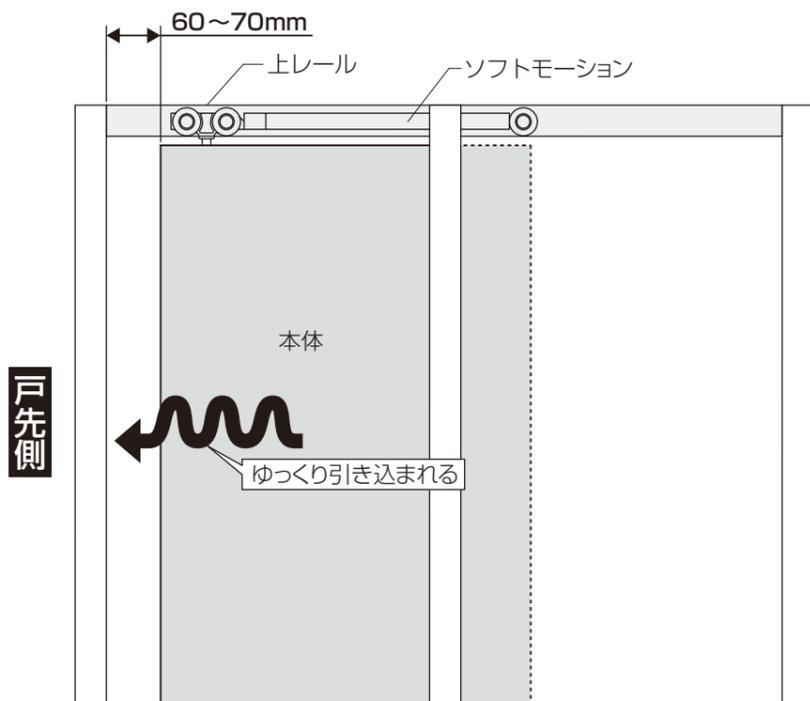
■2 錠の取付け

※錠の取付けについては、錠セットに同梱の取付け説明書をご覧ください。

■14 ソフトモーション・ポップアップの動作確認

① ソフトモーションの動作確認

本体を停止位置より60～70mm動かして、ゆっくりと引き込まれるか確認してください。



■ソフトモーション機構の自動復帰方法

※本体を吊込んでもソフトモーション機構が作動しない場合は以下の手順を行うことでソフトモーション機構が自動復帰します。

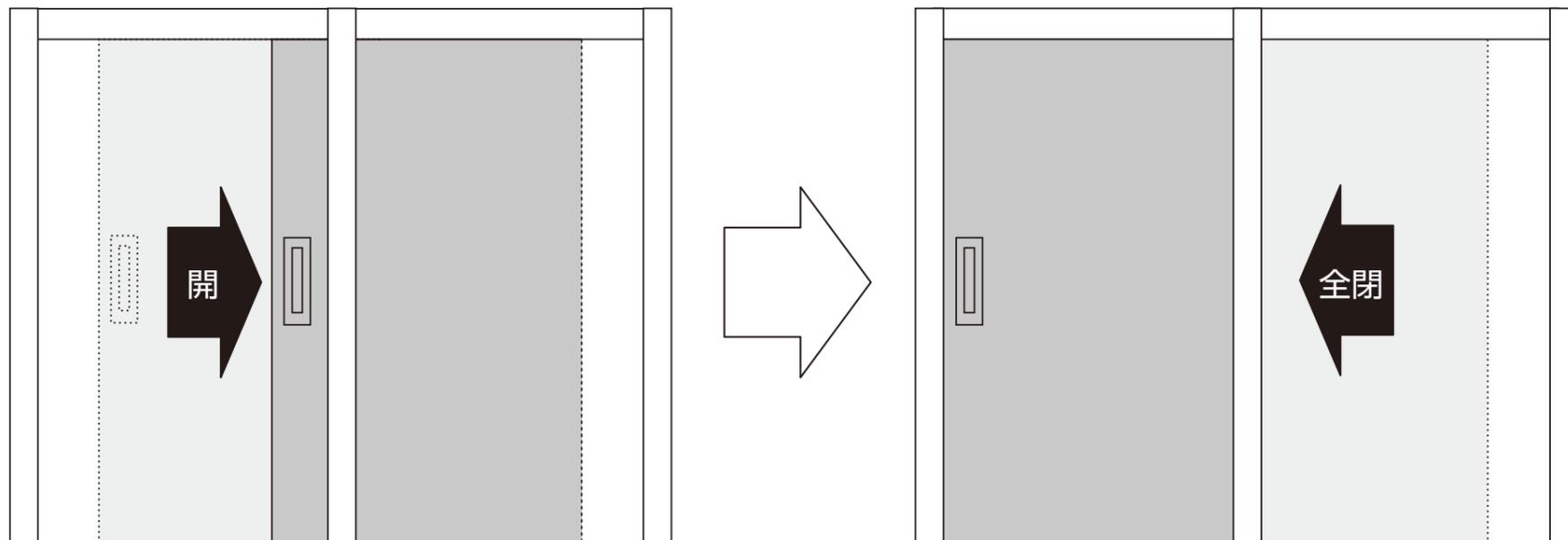
①引手が中縦枠にかかる手前まで本体を開けてください。

②本体を全閉してください。

③①、②を1～2回繰り返してください。ソフトモーション機構が復帰します。

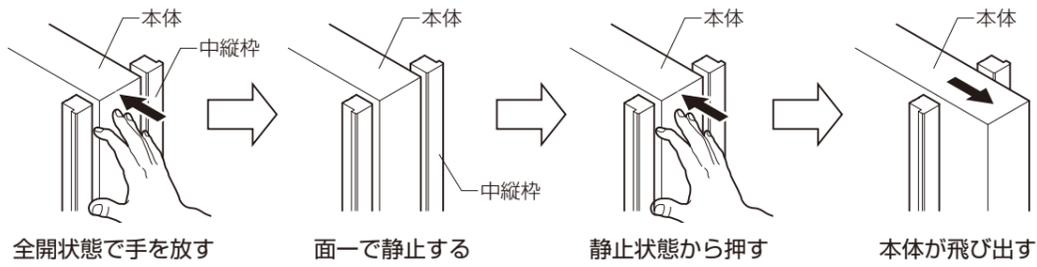
※必ず縦枠に当たるまで全閉を行ってください。ソフトモーション機構復帰時に「カチッ」と手応えを感じます。

※ソフトモーション機構復帰後は本体を無理に押し込んだり、引っ張ったりしないでください。作動不良の原因となります。



② ポップアップの作動確認

本体をゆっくり開け、全開状態で手を放し、静止(キャッチ)するか確認してください。静止(キャッチ)が確認できたら再び軽く押し、本体が飛び出すことを確認してください。



■ポップアップ機構の自動復帰方法

- 左記の確認で本体が静止(キャッチ)せずバネで押し戻される場合は、200mm以上戻してから再度、全開状態まで本体を押し込むとエラーが解除されます。その際に「カチッ」と手応えを感じることができます。
- 再び、左記の作動確認をしてください。

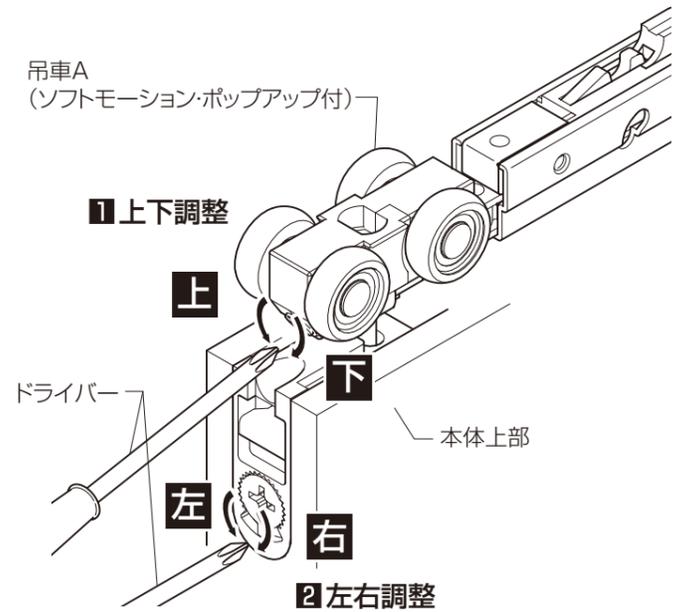
④ 本体の調整

① 上下調整(調整幅+4mm、-1mm)

プラスドライバーで吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。
 ※床面と本体下部とのチリ寸法は、8mmが標準です。
 ※本体を下げすぎるとガイドピンベース部と本体が当たりますので、下げすぎないでください。

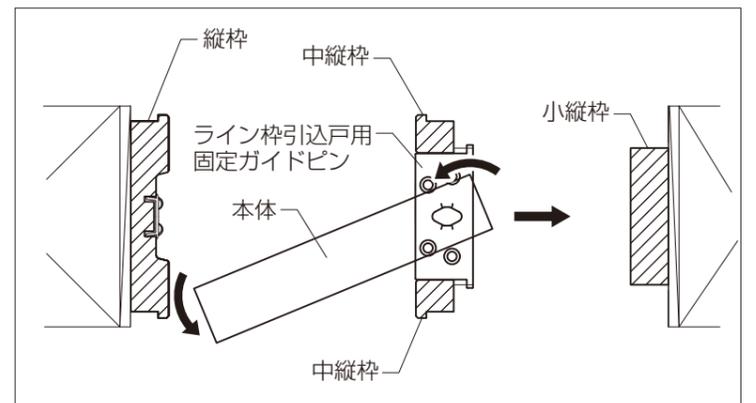
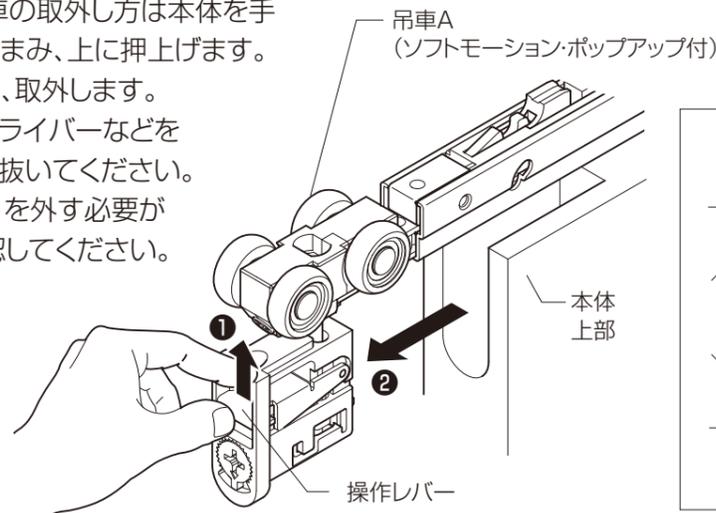
② 左右調整(調整幅±2mm)

中縦枠と本体のチリが均等になるようにしてください。プラスドライバーで吊車下部の調整ねじを左に回すと本体が右へ動き、右に回すと本体が左に動きます。
 ※左右調整した場合は、本体が常に垂直になるようにライン枠引込戸用固定ガイドピンの調整をしてください。調整しないと開閉操作が重くなる場合があります。



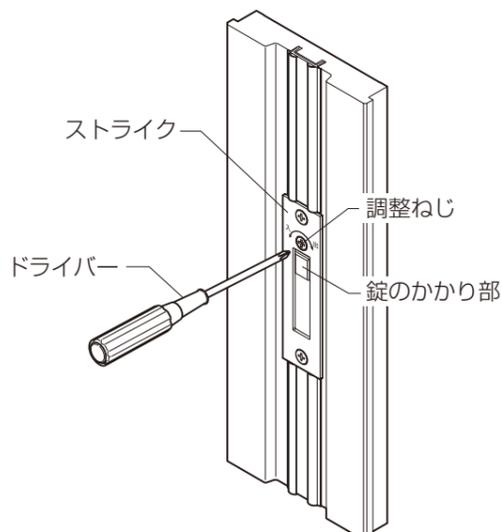
③ 本体の取外し方法

戸先側の吊車Aを外し、本体を戸袋から回転させながら引き出して戸尻側の吊車Bを取外してください。吊車の取外し方は本体を手で支えてから吊車の操作レバーを指でつまみ、上に押し上げます。次に吊車を本体の内部ケースより引抜き、取外します。
 ※取外しがやりにくい場合は、マイナスドライバーなどを使用して操作レバーを押し上げながら引抜いてください。
 ※吊車(ソフトモーション・ポップアップ付)を外す必要が生じた場合はQRコードより動画を確認してください。

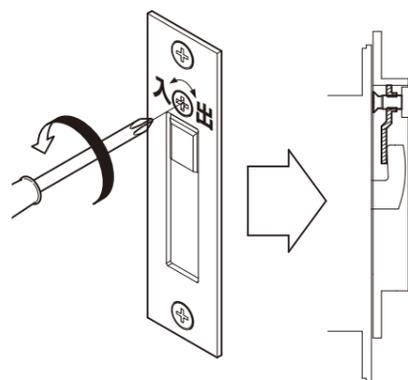


④ 引戸錠のかかり調整

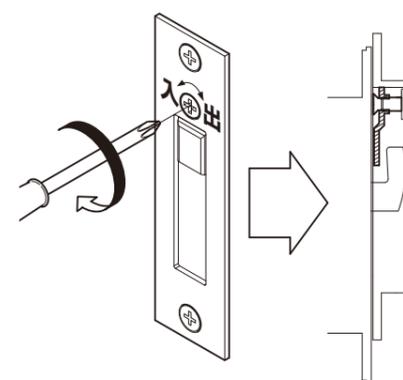
ストライクの調整ねじを右に回すと錠のかかり部が出て、左に回すと錠のかかり部が奥に入ります。



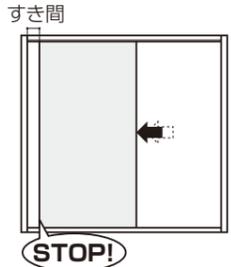
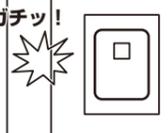
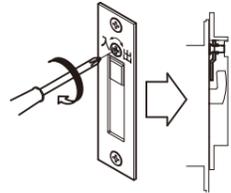
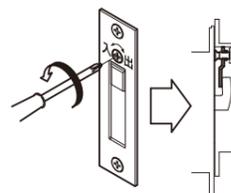
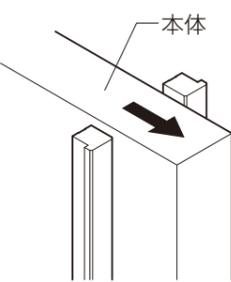
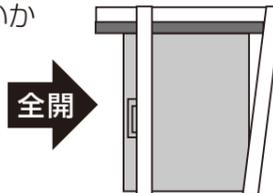
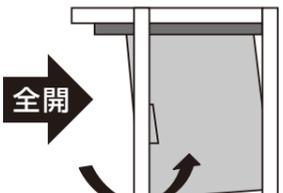
- 本体と枠のすき間が大きい場合
調整ねじを左に回して調整してください。



- 錠がかかりにくい場合
調整ねじを右に回して調整してください。



■異常時の対処方法

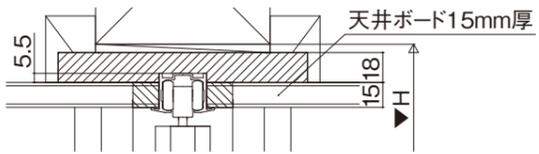
現象	チェックポイント	対処方法
<p>閉まりきらない</p> 	<p>●枠の取付け精度が許容範囲をオーバーしている ※『■取付け精度の許容範囲』の欄参照</p>	<p>許容範囲内となるように再施工してください。</p>
<p>鍵がかからない</p> 	<p>●ストライク調整が不適當</p>	<p>ストライク調整ねじを右に回してください。</p> 
<p>鍵のかかりが甘い (縦枠と本体戸先にすき間が開く)</p>	<p>●ストライク調整が不適當</p>	<p>ストライク調整ねじを左に回してください。</p> 
<p>全開状態で手を放した時に 静止(キャッチ)しない ※バネで押し戻される</p> 	<p>●吊車のポップアップ機能がエラー状態になっていないか</p> <p>●枠がゆがんでいないか</p> 	<p>本体を200mm以上戻してから再度戸袋へ「カチッ」と手応えを感じるまでゆっくり手を放さずに押し込んでください。</p> <p>枠のゆがみをなおしてください。</p>
<p>全開時に本体があおる</p> 	<p>●本体戸尻木口面への戸尻ストッパーの取付け忘れ</p>	<p>戸先側の吊車Aを外し、本体を回しながら戸袋から引出し、戸尻ストッパーを取付けてください。</p>

参考納まり図

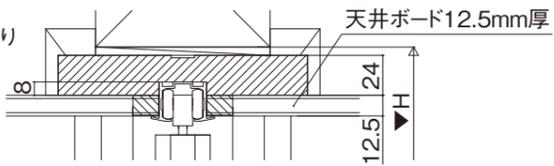
上吊片引戸標準

●縦断面図

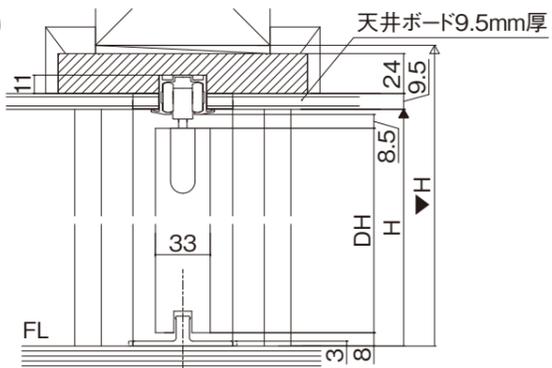
【特注】
天井ボード
15mm厚納まり



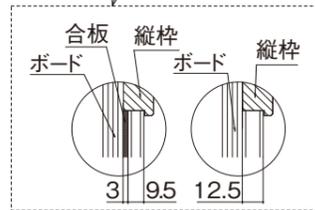
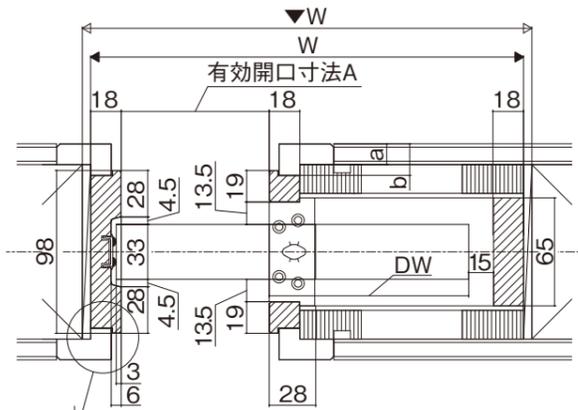
【特注】
天井ボード
12.5mm厚納まり



【規格】
天井ボード
9.5mm厚納まり



●横断面図



壁面ボード厚み	a寸法	b寸法
12.5	12.5	19
9.5	9.5	16

有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法
W14(1454)	686
W16(1644)	781
W18(1824)	871

算出式: A寸法 = $(W - 82) / 2$
DW = $(W - 20) / 2$